

科学技術政策の推進

第10回経済財政諮問会議

平成17年5月11日

棚橋臨時議員 提出資料

1. 科学技術を強化するための改革

- ◆ 科学技術は、環境と経済の両立を始め、日本の将来を支える大切な投資であり、総合科学技術会議は改革と投資重点化を推進中。
- ◆ 今年度は第2期科学技術基本計画の最終年度であり、第3期計画策定に向けた「節目」の年。

【第2期計画における総合科学技術会議の改革への取組】

- 基礎研究の推進、「ライフサイエンス」「情報通信」「環境」及び「ナノテク・材料」の4分野への優先的資源配分による投資の戦略的重点化。(13年度37.9%→17年度45.5%)
- 研究開発予算の優先順位付け(SABC等)の実施
- 競争的研究資金の拡充や研究開発評価の強化

《 成果は現れつつある 》

- ✓ **研究論文は質・量ともに持続的に改善し研究水準の着実な上昇**
(論文発表件数では米国に次ぎ2位、被引用度でみた上位10%シェアは米英独に次ぎ4位)
- ✓ **世界をリードする研究成果、産業化事例の出現**
(世界最高性能ス・パ・コ・ンピ・ユ・タ(地球シミュラ)の開発による精密な地球温暖化予測、ビデオカメラ等の画期的な小型化に貢献する新たなハードディスク技術の産業化 等)

2. 第3期計画における改革の一層の強化

- ◆ 平成18年度からの5年間についても、「選択と集中」の一層の強化を図る。
- ◆ 総合科学技術会議が主導して、国民・社会への成果還元の視点を強化する。
- ◆ 「環境と経済の両立」、「健康日本・生涯現役社会の実現」など、科学技術が何を目指すか(政策目標)を国民に対して具体的に明示し、以下の施策を展開。

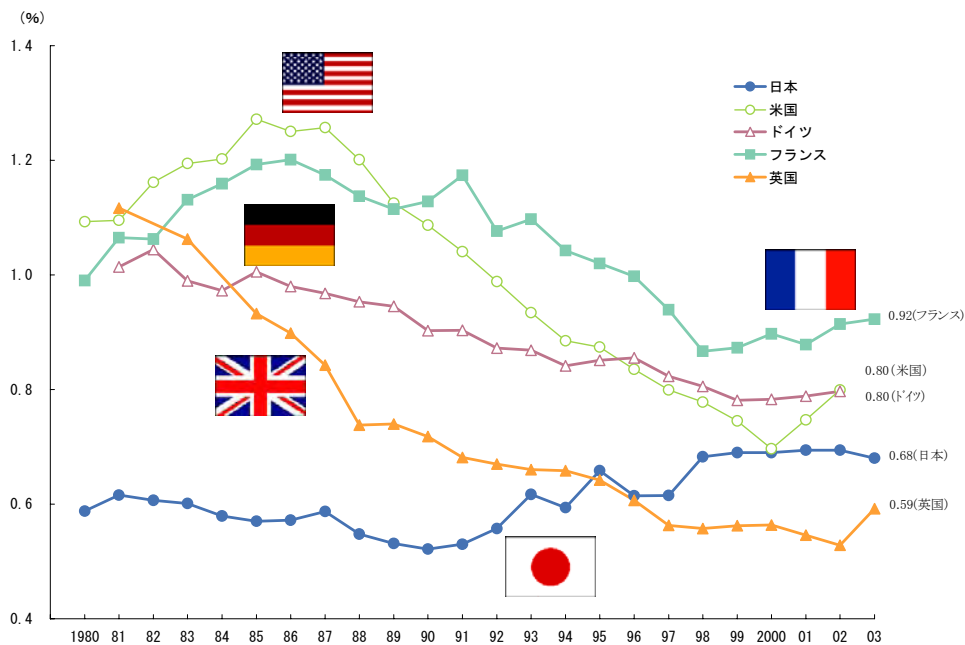
【具体的な検討内容】

- 重点分野への投資を一層効果的とするための、分野内での更なる重点化。
- 研究環境の一層の競争化のための大学における基盤的資金と競争的研究資金の適切なバランスの実現。
- データベース整備等による競争的研究資金の制度改革の徹底。
- 優れた人材養成と若手、女性、外国人等の活躍の促進。
- 優先順位付け(SABC等)の一層の改善。
- 「科学技術連携施策群」等による府省連携の本格的推進。 等

3. 政府の研究開発投資額について

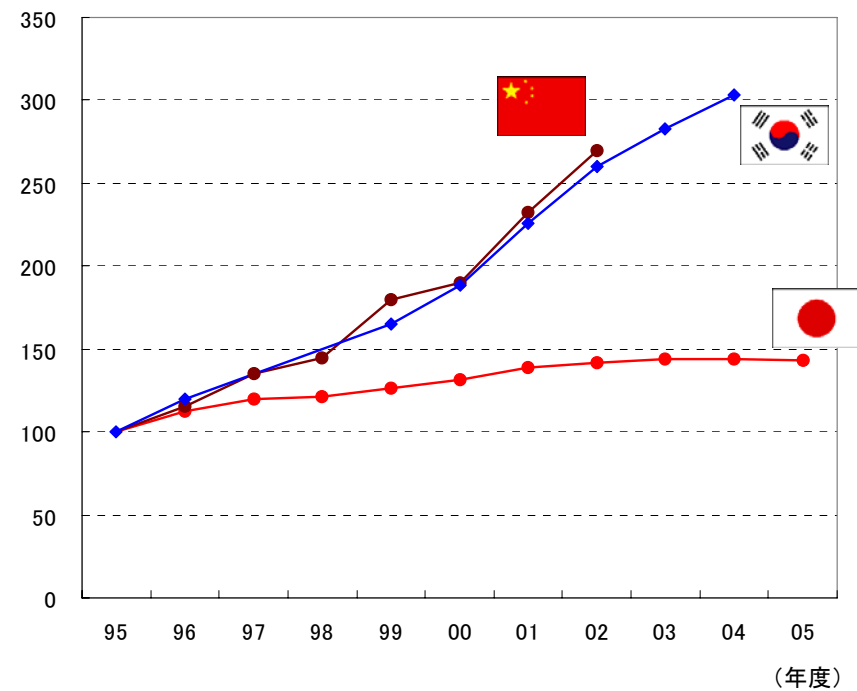
◆ 世界各国も科学技術の国家的重要性を深く認識しており、我が国も「知の大競争」時代を生き抜いていく必要がある。

主要国における政府負担研究費の対国内総生産(GDP)比の推移



出典: 各国統計データを基に内閣府作成

各国の科学技術予算の伸び率の比較 (95年度を基準(100)とした場合の伸び率)



※科学技術要覧(平成16年度版)を基に内閣府作成